

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 3 月 31 日作成)

小委員会名	エコロジカルリージョン小委員会	主 査 名：糸長浩司 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：岩田 衛
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2005 年度 サステナブルシティの学会提言案づくり エコロジカルリージョンの多様なとらえ方の整理</li> <li>・2006 年度 エコロジカルリージョンの概念、理論、計画・創造・管理論について整理 事例研究も交えて、出版企画及び大会時での協議会で発表準備。</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">有</span> 糸長浩司(日大) 宮田祐介(地域環境プランニング(有)) 藤沢直樹(日大) 木下勇(千葉大) 地井昭夫(広島国際大) 村上佳代(早大) 横張真(筑波大) デワンカー・パート(北九州市大) 齋木崇人(神戸芸工大) 笠真希(早大) 高口洋人(九大) 服部圭郎(明示学院大) 渡和由(筑波大)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2005 年度予算	85,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 公開研究会：地域空間計画と再生可能エネルギーの統合 - オーストラリアの事例 講師：ゲルノット・ストグレナー(ウィーン農科大学地域計画・農村開発研究科教授) 参加者数 20 名 資料：無し 2. 公開研究会：The Imaginative Power of Strategic Spatial Planning - a case study in North East England - 講師：村上佳代(Research Associate, Centre for Rural Economy, Newcastle University) 参加者数 15 名 資料：無し
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 小委員会としてのサステナブルシティ・リージョンの提言案は 2005 年度に完成させ、国際会議で公表した。 2. 公開研究会は海外事例を 2 回開催し、好評であった。 3. 提言案及び公開研究会の成果を出版する企画の検討
委員会活動の問題点・課題	1. エコロジカルリージョンに関する多様な論議をまとめ切れていない。 2. 国際的視野から、緊急にサステナブルシティ・リージョンの出版を進める

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。